

短編脚本「春チヨキ！」  
作 ササキタツオ

脚本

「春チヨキ！」

作 ササキタツオ

《あらすじ》

春は待つてくれない！

砂川君は森さんに告白すべく、全力ダツシユで下校する彼女を追いかけた。

でも、息が切れすぎて、彼の言葉は彼女に届かない……！！？

果たして、砂川君の告白はうまくいくのか。

短編脚本「春チヨキ！」  
作 ササキタツオ

《登場人物》

砂川君（16） 高校2年生。男子。

森さん（16） 高校2年生。女子。

《本編》

○河川敷

広い河川敷。

長い道を、砂川君（16）が全力で駆けていく。

砂川君のMO「春は待ってくれない。だから、俺は……！」

走る砂川君。

砂川君「（息を切らして）森さん！」

砂川君の視線のその先に森さん（16）が歩いている。

森さんに追いつく砂川君。

森さん「あれ？ 砂川君？ どうしたの？」

砂川君「（呼吸を整えて……）いや、その……やっとなら追いつけたから！」

森さん「えっ？ 私に？」

砂川君「う、うん！一緒に帰ってもいいかな！？」

森さん「あ、うん……いいけど」

砂川君「よかった！」

短編脚本「春チョコキ！」  
作：ササキタツオ

砂川君と森さんは一緒に並んで歩き出す。

砂川君は緊張している面持ち。

砂川君「(ぼそっと) 好きです……！」

森さん「え？ 何？」

砂川君「(ぼそっと早口で) 森さんの事が好き

なんです……！」

森さん「え？ なんて言ってるかよくわかんないよ？」

砂川君「(ぼそっと、さらに早口で) だから付

き合ってください……！」

森さん「(笑って) ダメだ！ 全然わかんない」

砂川君、森さんの前に回り込んで、手を差し出す。

砂川君「お願いします！」

森さんは、ハツとした表情を浮かべ、ジャンケンのチョコキを出す。

森さん「はい」

顔を上げる、砂川君、ハツとする。

森さん「私の勝ち」

短編脚本「春チヨキ！」  
作：ササキタツオ

砂川君「は、はい……！」

砂川君は、自分の出したパーの手で自分の顔を隠す。

森さん「変な砂川君」

今度は、森さんが手を差し出す。

それにハツとする砂川君。

恐る恐る、チヨキを出す。

森さん「これでおあいこだね」

歩き出す、森さん。

チヨキの手で自分の顔を突き刺す、砂川君。

砂川君「も、森さん！ 待って！」

砂川君、森さんを追いかける。

再び並んで歩く二人を春の夕暮れが照らしている。

(おしまい)